

展開科目「経済学」ガイダンス

2013年4月10日

経済学部教授 川端望

テーマ・目的

- 授業題目：日本企業に見る技術と経営の論理
- 目的と概要：企業は競争に勝ち残って成長し続けねばならないという宿命を背負っています。そこでは技術が大きな役割を果たします。しかし、技術と経営の関係は、技術が優れているほど企業が成長できるという単純なものではありません。両者の具体的関係を、日本企業の多数の事例を通して学びます。

学習の到達目標

- 日本企業の行動が経済・社会に強いインパクトを与えた事例を通して、競争戦略の意義を学びます。
- 日本企業の戦略と行動のパターンを学び、その存立根拠、優位性と問題点、今後の展望について考える力を養います。
- 技術の論理と経営の論理の関係について学ぶとともに、さらに深く把握する力を養います。

教科書

- 高橋琢磨『戦略の経営学』ダイヤモンド社、2012年、4200円＋税。
- そのまま信じようとすれば良くない本だが、疑って議論しようとすれば良い本である。
- 経済学・経営学的に厳密に議論する必要はないが、常識の範囲で、すじ道をたてて理解できるように努力すること。

授業の形式・進め方（1）

- 報告と討論を通して学ぶスタイルとする。
- 参加者を班に編成する。
- 毎回のパターン
 - レポーター班が教科書内容を報告。形式は二つのうちから選ぶ
 - 紙レジュメ
 - パワーポイントプレゼン（ハンドアウト配布）
 - 内容確認
 - 論点についてレポーター班が報告。
 - 提起者がコメント。
 - 班討論をはさみながら全員討論。

授業の形式・進め方（2）

- レポーター班の設定
 - 担当部分を事前に決めておく
- 論点の提出
 - 2回前の授業で班討論を行い，疑問点を出し合っ
てカードに記入。
 - 教員が整理し，1週間前に配布。また主要疑問点
を絞り込んで指定。
- ルーチン確立前の授業初期は，教員が講義し，
課題をその場または1週間前に指定してグ
ループ討論する。

スケジュール

回	月日	テーマ	教科書該当章	備考
1	4/10	ガイダンス		履修予定アンケート
2	4/17	競争戦略とは何か	序章・1章・2章	講義・暫定班で指定課題のグループ討論 トライアル
	4/19			履修登録最終日
	4/24			新歓行事のため休講
3	5/1	バリューシステム	3章	班編成確立・5章から論点カード化開始。 講義・指定課題のグループ討論。次回課題の指定。
4	5/8	先行者優位	4章	この回より学生報告・指定課題のグループ討論。
5	5/15	ドメイン	5章	自由論点のグループ討論開始。ルーチン確立。ミニットペーパー。
6	5/22	差別化	6章	
7	5/29	知識と学習	7章	
8	6/5	標準化	8章	
9	6/12	グローバル経営	9章	最終レポートテーマ提出。
10	6/19	企業組織	10章	ミニットペーパー。
11	6/26	M&Aとアライアンス	11章	
12	7/3	多角化	12章	
13	7/10	企業と社会	終章	最終レポート提出。
14	7/17	最終討論		レポート集配布。

成績評価

- 出席：40点
 - 毎回出席をとる。20分遅れで欠席とする。
 - 報告等の課題をすっぽかした場合は15点減点（班全員）。
 - それ以外の欠席（個人）
 - 2回まで：減点なし
 - 3回：5点減
 - 4回：15点減
 - 5回：25点減
 - 6回：失格
 - やむを得ない欠席は評価に影響しない。事前に連絡すること。
 - 認める：病気、事故、親しいものの冠婚葬祭、学友会正規加盟サークルの対外試合、在留手続き、研究のためのフィールドワーク、学友会など認可団体の役員の場合は大学側との会見。
 - 認めない：アルバイト、上記以外のサークル活動。
- 報告と討論：30点（班＋個人）（努力＋成果）
 - 報告評価：15点
 - 討論評価：15点
- レポート：30点（個人）
 - 論文・レポートルールの遵守（別途研修）
 - 着想・論述の深さ・首尾一貫性により評価

教員への連絡とオフィス・アワー (1)

- 研究室：経済学研究科棟618号室
- Tel&Fax 022-795-6279
- E-mail kawabata@econ.tohoku.ac.jp
- ウェブサイト
<http://www.econ.tohoku.ac.jp/~kawabata/jugyofile/jugyo2013.htm>
- プレゼンファイル等はウェブサイトに掲載するので、
随時チェックすること。
- オフィス・アワー：当面，水曜日4講時とする。
- 連絡マナー(就職活動でも同じ)
 - 電話：自分がかけた場合は、先に名乗ること。
 - メール：本文か件名で必ず名乗ること。携帯to携帯でかつ電話帳に登録された相手でなければ、自動的に名前が表示されることはない。

教員への連絡とオフィス・アワー (2)

- 掲示板を用いる。
- 掲示板に情報を出さないために周知されないことは、教員の責任である。
- 掲示板で情報を得ることは履修者の自己責任である。

メールでの質問について

- 随時受け付ける。
 - アドレス：kawabata@econ.tohoku.ac.jp
- 氏名および氏名が特定できる情報を削除した上で、印刷・配信することがある。